

報道関係者各位

2018 年実績による

環境・社会面に配慮したパーム油の日本企業スコア公表

2020 年 7 月 2 日

グリーン購入ネットワーク（東京都千代田区、会長：梅田靖）が事務局を務めるパーム油グリーン購入研究会は、「2018 年実績による環境・社会面に配慮したパーム油の日本企業スコア」を公開しました。2016 年、2017 年に続き、3 年目のスコア公表となる今回は、研究会独自の採点基準を設けました。

●スコアの目的

アブラヤシから採れるパーム油は、世界で最も使用されている植物油であり、食品や石けん・洗剤、化粧品など多くの製品の原材料になっています。生産国における熱帯林の減少や泥炭地火災の煙害による健康被害などの環境面、社会面の課題について、日本ではあまり認知されていませんでしたが、近年、多くの企業が問題の重要性を認識し、RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）に加盟して、環境・社会面に配慮したパーム油の調達を始めています。RSPO の年次報告書（ACOP 2018）のデータに基づく加盟企業の取り組み状況のスコア化は、環境・社会面に配慮したパーム油のさらなる普及と企業間の競争を促すことを目的としています。

●日本市場における環境・社会面に配慮したパーム油の普及状況

欧州や米国では、パーム油生産における環境面、社会面での課題が早くから重視され、取り組みが進んでいます。一方、日本においては、2020 年に予定されていたオリンピック・パラリンピック東京大会に向け「持続可能性に配慮したパーム油を推進するための調達基準」が定められたことも影響し、RSPO の加盟企業が急増しました（2020 年 6 月末時点で 209 社）。日本企業の認証油の調達状況については、スコアが示すように、100%達成はなお道半ばの状況です。業種によっては、100%達成が難しい製品や、取り扱い規模の違いはありますが、今後、認証油の調達量がさらに増加することが望まれます。

製造・小売部門では、株式会社資生堂が第一位、サラヤ株式会社が第二位となっています。加工・貿易部門では、取り扱い量が少ないものの、汎アジア貿易株式会社、日華化学株式会社、太田油脂株式会社が第一位となっています。

●本スコアの特徴

- (1)『取り組み姿勢の重視』・・・調達方針を策定し、目標を掲げていることを評価しています。
- (2)『実績の重視』・・・実際に認証油を調達できているかどうかを評価しています。

●グリーン購入ネットワーク（GPN）とは

グリーン購入を促進するために、1996 年 2 月に設立された、企業・行政・民間団体などによる緩やかなネットワーク組織です。グリーン購入の普及啓発活動や、商品分野ごとの購入ガイドラインの策定、商品の環境情報を掲載したデータベースの運営などを行っています。2020 年 3 月時点の会員数は合計 1,347 団体（企業 1,112、行政 109、民間団体 126）です。ホームページ：

<https://www.gpn.jp/>

<本件に関するお問い合わせ>

グリーン購入ネットワーク（GPN）事務局 担当：金子・長谷川

TEL 03-5829-6912 FAX 03-5829-6918 Web : <https://www.gpn.jp/> Email : gpn@gpn.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMM ビル 5 階

●参考情報

2016 年のスコアカードのリンク <https://www.gpn.jp/info/gpn/f180dcc6-7cd0-4766-ac26-d1d3d620d5a3>

2017 年のスコアカードのリンク <https://www.gpn.jp/guideline/palmoil/>

環境・社会面に配慮したパーム油使用製品紹介 Web サイトのリンク <https://www.gpn.jp/project/palm/>

RSPO（Roundtable on Sustainable Palm Oil）：持続可能なパーム油のための円卓会議 <https://rspo.org/>

<スコア表は次ページ>

2018年実績* による環境・社会面に配慮したパーム油の日本企業スコア 製造業・小売部門

*出典：RSPO（Roundtable on Sustainable Palm Oil、持続可能なパーム油のための円卓会議）の年次報告書（ACOP 2018）提出データ（<https://rspo.org/members/acop>）

No	企業名	部門	調達方針	実績公開	RSPO加盟	RSPOへの報告	認証油100%目標年	公約対象国	パーム油総使用量(t)	認証油の使用割合(%)	MB・SG・IPの使用割合(%)	前年の認証油使用割合(%)	スコア
1	株式会社資生堂	製造業	✓	✓	✓	✓	2018	✓（中国、フランス、日本、台湾、米国、ベトナム）	9,750	100.0%	0.0%	0.9%	12
2	サラヤ株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2020	（日本）	4,155	62.9%	0.2%	60.8%	11
3	味の素株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2020	✓（世界全体）	36,722	20.9%	16.2%	10.9%	10
3	太陽油脂株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2020	✓（日本）	13,000	2.6%	2.6%	1.6%	10
3	森永乳業株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2028	✓（日本）	5,059	67.7%	0.0%	-	10
3	株式会社ニイタカ	製造業			✓	✓	2017	✓（日本）	7	100.0%	0.0%	-	10
7	花王株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2020	✓（オーストラリア、中国、ドイツ、インドネシア、日本、マレーシア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、英国、米国、ベトナム）	421,400	18.4%	16.1%	13.0%	9
7	日清食品ホールディングス株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2030	✓（ブラジル、中国、ハンガリー、インド、インドネシア、日本、メキシコ、タイ、米国、ベトナム）	114,009	20.1%	20.1%	-	9
7	ライオン株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2020	✓（日本）	28,000	10.7%	10.7%	10.4%	9
7	エスビー食品株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2023	✓（日本）	7,162	2.2%	2.2%	-	9
11	日本生活協同組合連合会	小売	✓		✓	✓	2020	✓（日本）	6,700	51.2%	0.0%	-	8
12	株式会社コープグリーン	製造業	✓		✓	✓	2020	✓（日本）	3,600	17.4%	0.0%	19.5%	7
12	雪印メグミルク株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2026	✓（日本）	2,100	0.0%	0.0%	-	7
12	玉の肌石鹸株式会社	製造業			✓	✓	2015	✓（中国、日本）	1,410	0.7%	0.7%	非公表	7
15	スジャータめいらく株式会社	製造業	✓		✓	✓	2023	✓（日本）	1,540	0.0%	0.0%	-	6
15	株式会社明治	製造業	✓	✓	✓	✓	2023	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	非公表	6
17	三洋化成工業株式会社	製造業			✓	✓	2025	✓（日本）	5,000	0.0%	0.0%	非公表	5
17	ミマスクリーンケア株式会社	製造業			✓	✓	2020	✓（日本）	1,266	0.0%	0.0%	0%	5
17	東洋水産株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2020	（米国）	非公表	非公表	非公表	-	5
17	日本サーファクタント工業株式会社	製造業	✓		✓	✓	2030	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	0%	5
17	ハウス食品グループ本社株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	2024	（日本）	非公表	非公表	非公表	-	5
22	株式会社不二家	製造業			✓	✓	非公表	✓（日本）	5,000	0.0%	0.0%	-	4
22	合同酒精株式会社	製造業			✓	✓	非公表	✓（ドイツ）	0	0.0%	0.0%	-	4
22	高砂香料株式会社	製造業	✓	✓	✓	✓	非公表	（フランス、日本）	非公表	非公表	非公表	-	4
22	タカナシ乳業株式会社	製造業			✓	✓	2028	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	21.7%	4
22	三井化学株式会社	製造業			✓	✓	2020	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	100%	4

スコアの基準

パーム油研究会は、日本の企業の認証パーム油の取り組みを採点しました。満点は16ポイントです。

評価項目	判断基準	配点	備考
パーム油のグリーン購入	調達方針を公開している	1	ウェブサイトを確認 ※「社名・パーム油・方針」で検索
	調達実績を公開している	1	ウェブサイトを確認 ※「社名・パーム油・実績」で検索
RSPOメンバーシップと年次進捗報告	RSPOに加盟している	1	RSPO正会員（Ordinary Member）の場合に限り加点
	RSPOへ進行状況を報告している	1	ACOP2018の提出状況
認証パーム油（CSPO）の購入	CSPO100%達成年の目標がある	1	ACOP設問（3.3）の回答を参照
	製品生産国で取り扱うパーム油全体が公約の対象である	1	ACOP設問（2.1.1、3.4.2）の回答を参照。生産国と公約対象国が完全に一致している場合に限り加点
パーム油の使用量の把握と公表	パーム油の総使用量を公表している	1	ACOP設問（2.2.5、6.1）の回答を参照。※6.1が「yes」（公表）の場合のみ加点
購入実績	パーム油総使用量に対する認証油の割合	最大4	75～100%：4ポイント、50～74.9%：3ポイント、25～49.9%：2ポイント、0.1～24.9%：1ポイント、0.1%未満またはデータがない：0ポイント
	パーム油総使用量に対するMB以上の認証油の割合	最大4	
	前年より認証油の使用割合が増えている	1	ACOP2017の回答と比較。※加盟時期により2017年のデータがない場合でも100%なら加点

100%認証油目標年は、クレジット方式を含みます。転載時には事前にGPNまでご連絡ください（<http://www.gpn.jp/>）。

<解説> 認証油のレベルについて

B&C	生産者が認証パーム油の生産量に基づいて証書を発行し、それを取引する方法です。
MB	流通の過程全体を通して認証油の取引量を監視する方法で、途中で他の非認証油と混合されてもその比率は最終利用段階まで厳密に記録されます。認証油の量を管理できていれば、一般の流通と分ける必要はなく、流通過程で非認証原料が混合しても構いません。
SG	認証パーム油やパーム油関連製品について、その原料は認証を受けた複数の生産農園から供給された認証パーム油のみを使用し、搾油工場から最終製品に至るまで非認証のパーム油の供給や流通から完全に切り離されている場合に与えられます。
IP	「原則と規準（P&C）」に基づき持続可能な生産を示すP&C認証を受けた単一の生産農園・搾油工場から供給されたパーム油を原料として使用し、最終製品に至るまで非認証のパーム油の供給や流通から完全に切り離された商品に与えられます。

<参考> SG以上の認証油を調達している企業（日本以外の調達を含む）

味の素株式会社、サラヤ株式会社、日清食品ホールディングス株式会社



2018年実績＊による環境・社会面に配慮したパーム油の日本企業スコア 加工・貿易部門

*出典：RSPO（Roundtable on Sustainable Palm Oil：持続可能なパーム油のための円卓会議）の年次報告書（ACOP 2018）提出データ（<https://rspo.org/members/acop>）

No	企業名	部門	調達方針	実績公開	RSPO加盟	RSPOへの報告	認証油100%目標年	公約対象国	パーム油総使用量(t)	認証油の使用割合(%)	MB・SG・IPの使用割合(%)	前年の認証油使用割合(%)	スコア
1	日華化学株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2025	✓（日本）	132	100.0%	100.0%	-	14
1	汎アジア貿易株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2025	✓（日本）	128	100.0%	100.0%	-	14
1	太田油脂株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2028	✓（日本）	1	100.0%	100.0%	-	14
4	三井物産株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2023	✓（日本、フィリピン、台湾）	520,000	3.3%	3.3%	2.8%	10
4	伊藤忠商事株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2025	✓（日本）	277,000	2.1%	2.1%	0.3%	10
6	不二製油株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2030	✓（ベルギー、中国、インドネシア、日本、マレーシア、シンガポール、タイ、米国）	709,047	16.6%	16.6%	17.4%	9
6	株式会社J-オイルミルズ	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2025	✓（日本）	67,000	1.8%	1.8%	非公表	9
6	丸紅株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2030	✓（日本）	47,369	1.8%	1.8%	0.9%	9
9	三菱商事株式会社	加工・貿易			✓	✓	2021	（日本）	356,000	4.6%	4.6%	2.0%	8
9	昭栄薬品株式会社	加工・貿易			✓	✓	2027	✓（日本）	2,700	1.0%	1.0%	0.5%	8
9	研光通商株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2030	✓（日本）	1,000	3.6%	3.6%	0.0%	8
12	第一工業製薬株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2025	✓（グローバル）	899	36.5%	36.5%	-	9
12	岩瀬コスファ株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2018	（日本）	1	100.0%	0.0%	-	9
14	株式会社カネカ	加工・貿易			✓	✓	2030	✓（日本）	35,000	0.8%	0.8%	0.0%	8
15	ミヨシ油脂株式会社	加工・貿易	✓		✓	✓	2030	✓（日本）	66,000	1.5%	1.5%	-	7
15	豊田通商株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2030	（日本、米国）	33,909	8.8%	8.8%	100.0%	7
15	阪本薬品工業株式会社	加工・貿易	✓		✓	✓	2024	（日本、フィリピン）	30,000	1.5%	1.5%	1.3%	7
15	株式会社小桜商会	加工・貿易			✓	✓	2021	✓（日本）	4,773	0.5%	0.5%	-	7
15	日清オイリオグループ株式会社	加工・貿易	✓		✓	✓	2030	✓（中国、フランス、日本）	0	-	0.0%	非公表	7
20	双日株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2030	✓（日本）	80,000	0.0%	0.0%	0.0%	6
20	株式会社ADEKA	加工・貿易			✓	✓	2030	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	-	6
22	新日本理化株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2025	✓（日本、米国）	555	0.0%	0.0%	非公表	5
22	株式会社クリアジャパン	加工・貿易			✓	✓	2020	✓（日本）	0	-	0.0%	-	5
22	月島食品工業株式会社	加工・貿易			✓	✓	2025	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	非公表	5
22	横関油脂工業株式会社	加工・貿易			✓	✓	2030	✓（中国、日本）	非公表	非公表	非公表	-	5
26	喜多組商事株式会社	加工・貿易			✓	✓	非公表	✓（日本）	4,200	0.0%	0.0%	-	4
26	日油株式会社	加工・貿易			✓	✓	2030	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	非公表	4
26	理研ビタミン株式会社	加工・貿易			✓	✓	2025	✓（ドイツ、日本、マレーシア、シンガポール、米国）	非公表	非公表	非公表	非公表	4
26	株式会社日本触媒	加工・貿易			✓	✓	2020	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	38.3%	4
26	丸善石油化学株式会社	加工・貿易	✓		✓	✓	2030	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	20.8%	4
26	日光ケミカルズ株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	2030	✓（グローバル）	非公表	非公表	非公表	非公表	4
26	OLEOTRADEINTERNATIONAL CO., LTD.	加工・貿易	✓		✓	✓	2025	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	0.0%	4
33	カナダ株式会社	加工・貿易	✓	✓	✓	✓	非公表	-	#####	非公表	0.0%	-	3
33	三菱ケミカル株式会社	加工・貿易			✓	✓	非公表	（フランス、ドイツ、インド、イタリア、英国）	0	-	0.0%	-	3
33	太陽化学株式会社	加工・貿易			✓	✓	2022	（ドイツ、日本）	非公表	非公表	非公表	非公表	3
33	植田製油株式会社	加工・貿易	✓		✓	✓	非公表	✓（日本）	非公表	非公表	非公表	-	3
33	テイカ株式会社	加工・貿易			✓	✓	非公表	✓（日本、タイ、ベトナム）	非公表	非公表	非公表	-	3
38	高級アルコール工業株式会社	加工・貿易			✓	✓	2017	-	非公表	非公表	非公表	1.1%	2

スコアの基準

パーム油研究会は、日本の企業の認証パーム油の取り組みを採点しました。満点は16ポイントです。

評価項目	判断基準	配点	備考
パーム油のグリーン購入	調達方針を公開している	1	ウェブサイトを確認※「社名・パーム油・方針」で検索
	調達実績を公開している	1	ウェブサイトを確認※「社名・パーム油・実績」で検索
RSPOメンバーシップと年次進捗報告	RSPOに加盟している	1	RSPO正会員（Ordinary Member）の場合に限り加
	RSPOへ進捗状況を報告している	1	ACOP2018の提出状況
認証パーム油（CSPO）の購入	CSPO100%達成年の目標がある	1	ACOP設問（3.4）の回答を参照
	製品生産国で取り扱うパーム油全体が公約の対象である	1	ACOP設問（2.1.1、3.5）の回答を参照。生産国と公約対象国が完全に一致している場合に限り加
パーム油の使用量の把握と公表	パーム油の総使用量を公表している	1	ACOP設問（2.2.5、6.1）の回答を参照。※6.1が「yes」（公表）の場合のみ加
購入実績	パーム油総使用量に対する認証油の割合	最大4	75～100%：4ポイント、50～74.9%：3ポイント、25～49.9%：2ポイント、
	パーム油総使用量に対するMB以上の認証油の割合	最大4	0.1～24.9%：1ポイント、0.1%未満またはデータがない：0ポイント
	前年より認証油の使用割合が増えている	1	ACOP2017の回答と比較。※加盟時期により2017年のデータがない場合でも100%なら加

100%認証油目標年は、クレジット方式を含みます。転載時には事前にGPNまでご連絡ください（<http://www.gpn-jp/>）。

<参考> ACOP 2018の報告義務があり未提出の加盟企業

丸善薬品産業株式会社 （2012年8月加盟、ACOP2017はデータあり）
興和株式会社 （2015年12月加盟、ACOP2017はデータあり）
幸商事株式会社 （2017年3月加盟）

<解説> 認証油のレベルについて

B&C	生産者が認証パーム油の生産量に基づいて証書を発行し、それを取引する方法です。
MB	流通の過程全体を通して認証油の取引量を監視する方法で、途中で他の非認証油と混合されてもその比率は最終利用段階まで厳密に記録されます。認証油の量を管理できていれば、一般の流通と分ける必要はなく、流通過程で非認証原料が混合しても構いません。
SG	認証パーム油やパーム油関連製品について、その原料は認証を受けた複数の生産農園から供給された認証パーム油のみを使用し、搾油工場から最終製品に至るまで非認証のパーム油の供給や流通から完全に切り離されている場合にとられます。
IP	「原則と規準（P&C）」に基づき持続可能な生産を示すP&C認証を受けた単一の生産農園・搾油工場から供給されたパーム油を原料として使用し、最終製品に至るまで非認証のパーム油の供給や流通から完全に切り離された商品にとられます。

<参考> SG以上の認証油を調達している企業（日本以外の調達を含む）

不二製油株式会社

